

タカオシケチシダ

メシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Cornopteris decurrenti-alata (Hook.) Nakai var. *pilosella* H.Ito

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、開発の影響を受けやすい山麓に生育する。(現況:R-)

形態

葉は2回ないし3回羽状複葉で柔らかく、葉の裏面の脈上に毛が生える。葉柄はなく、無柄状の羽片をつける。裂片は先端が円頭で縁に鋸歯がある。孢子嚢は線形で包膜がなく、分岐するものが混じる。根茎は短く横に這う。

国内分布

本州、四国、九州(屋久島以北)。

県内分布

口能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

夏緑性の半地中植物である。好陰地性、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

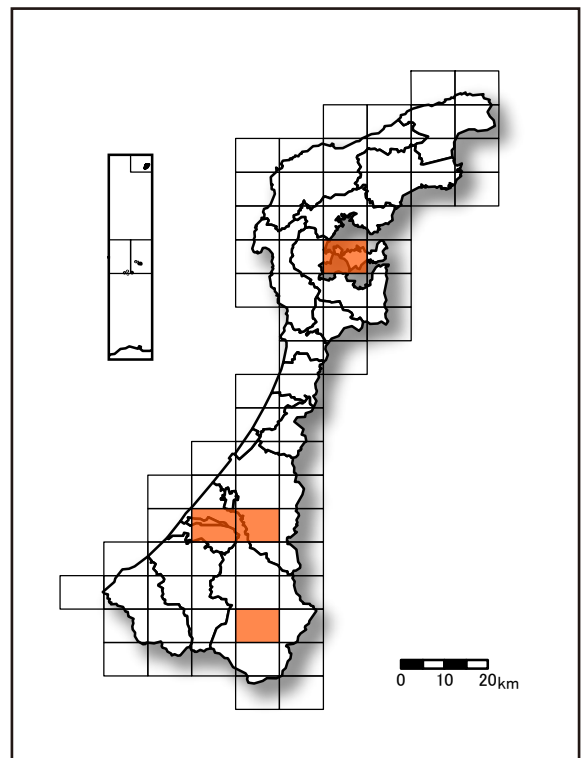
ヤブツバキクラス域およびブナクラス域の林下の湿ったところに生育する。

危険要因

道路整備、森林伐採、宅地造成、河川工事。



米山競一・2008年10月26日・七尾市



県内の分布